

令和2年度厚生労働行政推進調査事業費補助金（厚生労働科学特別研究事業）
（分担）研究報告書

新興感染症の回復者からの血漿の採取体制の構築に向けた研究

研究分担者 藤原 慎一郎 | 自治医科大学 輸血・細胞移植部 教授

研究要旨：安全にCOVID19回復者からの血漿を採取するため「新興感染症（COVID-19）の回復者からの血漿採取の指針」を作成した。

研究分担者氏名・所属研究機関名及び所属研究機関における職名
（分担研究報告書の場合は、省略）

A. 研究目的

COVID-19の患者に対し既感染者の回復者血漿を用いた血漿療法・血漿分画製剤の有効性が示唆されている。国内においてはCOVID-19回復者からの血漿採取の経験は乏しく血漿採取の体制は十分に確立されていない。本研究の目的は、造血幹細胞のアフェレーシスでの知見等を踏まえて、安全に回復者からのアフェレーシスを実施するため指針を作成することである。

B. 研究方法

アフェレーシスを安全に実施するため、採血対象者の適格性（選択基準、除外基準）、術前健診項目、安全対策、採取の実施手順、有害事象の予防と対策について、過去のアフェレーシス（造血幹細胞、リンパ球、血小板）の知見を踏まえ指針を作成する。

C. 研究結果

指針案を作成し研究グループにて計4回の班会議において検討を重ね「新興感染症（COVID-19）の回復者からの血漿採取の指針」を作成した。

D. 考察

「新興感染症（COVID-19）の回復者からの血漿採取の指針」は、各医療機関における安全なCOVID19回復者からの血漿採取の実施に寄与すると考えられる。また、COVID19以外の新興感染症の発生に対しても、回復者血漿を採取する際の参考になると考えられる。

E. 結論

安全にCOVID19回復者からの血漿を採取するため「新興感染症（COVID-19）の回復者からの血漿採取の指針」を作成した。

F. 健康危険情報

（分担研究報告書には記入せずに、総括研究報告書にまとめて記入）

G. 研究発表

該当なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む。）

該当なし